

※「もつと知りたいふるさと」のバックナンバーは千曲市ホームページでご覧になれます。

# もつと知りたいふるさと

56

## 荒屋道祖神とサイカチ



今年も若葉を繁らせる「サイカチの木」



石塔の脇に立つ道祖神の石碑

五加線から千本柳区荒屋分  
区への道路の分岐点に道祖神  
があり、ここにサイカチの老  
木が立っている。幹は北に傾  
き上部は枯れ落ち、胴部も半  
分ほど裂けてなく、芯が出て  
いる。残った側からも外皮が  
芯を包み込むように盛り上が  
り、さらにこぶ状に肥大化し  
た箇所もある。幾本かの太い  
枝がでており、葉を繁らせて  
丸く樹幹をつくっている。

大きな豆のさやをつけ、秋  
に葉が落ちてからも、しばら  
く茶褐色の実をぶらさげている。また、幹からは枝の変わ  
った鋭い刺がでており、区民  
はこの木を  
「サイカチ  
バラ」と呼  
んでいる。  
かつては真  
直ぐに伸び  
た大木で  
あつたが、  
明治の中頃  
に落雷に遭  
い、幹が折  
れ、裂かれ  
たと語り継がれている。



サイカチの木と秋葉社石塔

サイカチは水辺を好む。こ  
の木も落雷には遭つたが、道  
祖神の横を流れる用水の傍ら  
に立ち、神木として守られる  
など好条件で生育してきた。  
ところが、近年になり用水  
路がコンクリートの側溝とな  
つた。道路はアスファルトで  
固められ、その度に掘り返さ  
れて根が切られた。また、上  
に張られた電線に触れるから  
と枝が切られるなどさんざん  
痛めつけられて、幹も傾き樹  
勢も衰えが目立ってきた。神  
木としては珍しいこのサイカ  
チを永く残したいものである。  
さて、道祖神であるが、そ  
の呼び方は「ドウロクジン」と  
呼ぶことが多い。そして、千  
本柳の道祖神は「やわたみち」  
の標識を兼ねているものが多い。  
道祖神の祭日は、小正月  
の1月15日と2月8日の初午  
の馬引きをあげる地区がほと  
んどである。どんど焼きは道  
祖神のある所でも行われてき

たが、今では小学校の  
庭などでも行われてい  
る。

また、荒屋の道祖神  
脇には秋葉社の石塔が  
ある。千本柳には、他  
に黒彦神社・甲組作業  
所及び北組に建つてい  
る。いずれも3基もあ  
る石の上に権現造りの  
小さなお社が載ってい  
る。これは通称「龍頭様」と  
いって、多分石の部分が胴体  
で、御神体のあるお社が頭部  
に当たるのだろうか。龍頭様  
の御神体は秋葉三尺坊大権現  
で俗にいうお天狗様、この神  
様が「火を鎮圧する」神様な  
のである。

秋葉講は春と秋の2回、日  
待といって社殿に紫の幕が張  
り巡らされ、幟が建てられた  
という。その夜は講中一同が  
当番の家に集まり、手料理で  
酒食を共にし、一夜歓談し、  
親交を深めたという。今も日  
待の日には当番が幟を立てて  
いる。

### 参考文献

『戸倉町誌第一巻』

(自然編・民俗編)

『千本柳の来し方記』

竹内正一著

戸倉公民館長 金井栄一

